

平成25年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年12月27日

上場会社名 株式会社しまむら
 コード番号 8227 URL <http://www.shimamura.gr.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 企画室長
 四半期報告書提出予定日 平成24年12月28日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 野中 正人
 (氏名) 小坂橋 哲也

TEL 048-652-2111

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第3四半期の連結業績(平成24年2月21日～平成24年11月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第3四半期	365,670	7.2	35,272	10.4	36,547	11.9	21,121	16.9
24年2月期第3四半期	341,248	4.1	31,951	4.5	32,660	4.4	18,070	0.1

(注) 包括利益 25年2月期第3四半期 21,045百万円 (16.2%) 24年2月期第3四半期 18,105百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第3四半期	574.35	—
24年2月期第3四半期	491.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年2月期第3四半期	308,306	241,468	78.3	6,566.51
24年2月期	277,647	225,611	81.3	6,134.55

(参考) 自己資本 25年2月期第3四半期 241,468百万円 24年2月期 225,611百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	64.00	—	72.00	136.00
25年2月期	—	68.00	—	—	—
25年2月期(予想)	—	—	—	68.00	136.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年2月期の連結業績予想(平成24年2月21日～平成25年2月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	490,000	5.1	46,400	5.6	47,700	5.4	27,200	7.9	739.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
詳細は、添付資料P3.「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年2月期3Q	36,913,299 株	24年2月期	36,913,299 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年2月期3Q	140,628 株	24年2月期	136,095 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年2月期3Q	36,774,220 株	24年2月期3Q	36,779,531 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。
なお、上記予想数値に関する事項は添付資料の2ページを参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	1
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間のわが国の経済は、東日本大震災からの復興需要を背景とした公共投資の増加などにより、緩やかながらも回復基調にありましたが、欧州経済の不振や中国での経済成長の鈍化などが輸出関連産業に影響を与え、6月以降の輸出総額は5ヶ月連続で前年割れとなり、広く製造業の業績が減収減益の予測となるなど、国内経済には減速懸念が広がっております。

一方で、金融緩和の更なる拡大への期待により、11月中旬からは円高が一服し、株価も上昇傾向となるなど明るい兆しもあり、世界経済減速の中で国内経済は、不透明ながらも多少の回復が期待されます。

1) 消費環境の概要

①一世帯当たりの実収入は3ヶ月連続で前年を上回っているものの、消費支出は9月以降前年を下回っており、消費者全般に節約志向が顕著となっております。雇用状況についても、一貫して上昇傾向にあった有効求人倍率が悪化に転じ、消費を取り巻く環境には厳しさが増しております。

②衣料品の消費に影響を及ぼす天候は、厳しい残暑により9月の秋物販売に影響をうけたものの、10月から気温が一気に低下したことにより冬物衣料品の販売は好調にスタートでき、11月に入ると防寒商品の売れ行きも活発となるなど、衣料品業界にとっては概ね恵まれた天候となりました。

2) 当社グループの状況

このような消費環境のもと、当社グループは持続的な成長を目指して“全体能力の底上げ”を当連結会計年度の統一テーマとし、個々の能力から組織の能力まで、全体の底上げを目指して、業績の向上に努めてまいりました。

3) 主力のしまむら事業

①商品のコンセプトを明確にし、「ファッション性」・「高品質」・「低価格」を併せ持つプライベート・ブランドは、機能・素材にこだわった“ファイバーヒート”を柱とし、吸湿発熱、抗菌防臭等の機能に加え、デザイン、カラー、柄の拡大による「ファッション性」の追求、「低価格」の実現に努めた結果、当第3四半期連結累計期間のプライベート・ブランドの販売額は前年同期比で2.1%増加し、売上高に占める割合は42.1%となりました。

②また、当第3四半期連結累計期間も積極的に店舗を新設し、33店舗を新たに開設しました。この内25店舗が東京・神奈川・大阪などの都市部への出店となり、都市部への店舗展開が広まっております。さらに、既存6店舗の建替えと、11店舗での大規模な改装及び2店舗の閉店を実施した結果、しまむら事業での店舗数は1,268店舗となり、売上高は前年同期比6.5%増の2,985億36百万円となりました。

4) アベイル事業

若者向けの感度の高いファッションを扱うアベイル事業は、コーディネートが容易になるようにサイズ・カラーの関連性をもった商品のグループ化を推進して、プライベート・ブランド化を更に強化して客層の拡大と買上点数の増加に努めてまいりました。当第3四半期連結累計期間は8店舗を新規に開設した結果、店舗数は268店舗となり、売上高は前年同期比8.2%増の397億16百万円となりました。

5) パースデイ事業

ベビー・トドラー用品を扱うパースデイ事業は、引続きブランド化とオリジナル商品の推進及びファッション雑誌やモバイル、インターネット等を活用した広告宣伝に注力し、集客力の向上に努めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間は8店舗を新規に開設し1店舗を閉店した結果、店舗数は134店舗となり、売上高は前年同期比16.5%増の176億44百万円となりました。

6) シャンブル事業

女性のファッション雑貨を扱うシャンブル事業は、引続きブランド化とオリジナル商品の推進及びモバイル等を活用した広告宣伝に注力し、集客力の向上に努めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間は、3店舗を新規に開設した結果、店舗数は73店舗となり、売上高は前年同期比4.7%増の70億86百万円となりました。

7) ディバロ事業

10~20代の女性を主たる顧客層としたカジュアル・シューズを扱う専門店のディバロ事業は、当第3四半期連結累計期間の出店は無く、既存13店舗の営業で、売上高は前年同期比15.4%増の4億57百万円となりました。

8) 以上の結果、当第3四半期連結累計期間の日本国内の業績は、売上高3,634億41百万円(前年同期比7.1%増)、営業利益353億38百万円(同10.5%増)、経常利益366億32百万円(同12.0%増)、四半期純利益は211億72百万円(同16.9%増)となりました。

9) 海外事業

台湾で事業展開する思夢樂は、プライベート・ブランドの拡大及び販促物と売場の連動による業績向上に努めてまいりました。当第3四半期連結累計期間は2店舗を新規に開設し2店舗を閉店した結果、店舗数は35店舗で、売上高は前年同期比0.4%減(NT\$ベース)の7億96百万NT\$(22億28百万円)となりました。

中国で事業展開する飾夢樂(非連結子会社)は、4月に1号店の長風景畔広場店を出店したの続き、11月30日に申虹広場店を出店し、店舗数は2店舗となりました。

10) 以上の結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高3,656億70百万円(前年同期比7.2%増)、営業利益352億72百万円(同10.4%増)、経常利益365億47百万円(同11.9%増)、四半期純利益は211億21百万円(同16.9%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

1) 当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ、306億58百万円増加し、3,083億6百万円となりました。これは主として、有価証券の増加180億7百万円、商品の増加132億17百万円等によるものです。

負債は前連結会計年度末と比べ、148億2百万円増加し、668億37百万円となりました。これは主として買掛金の増加201億99百万円、未払法人税等の減少44億83百万円等によるものです。

純資産は前連結会計年度末と比べ、158億56百万円増加し、2,414億68百万円となりました。これは主として利益剰余金の増加159億72百万円等によるものです。

2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、営業活動及び新規出店等による投資活動、ならびに財務活動を行った結果、前年同四半期連結累計期間末に比べ169億53百万円減少し306億8百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、前年同四半期連結累計期間と比べ、255億78百万円減少し、254億33百万円となりました。これは、法人税等の支払額196億5百万円、たな卸資産の増加額132億8百万円等に対し、税金等調整前四半期純利益363億59百万円、仕入債務の増加額201億96百万円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、前年同四半期連結累計期間と比べ、238億27百万円減少し、368億64百万円となりました。これは、有価証券の償還による収入480億1百万円等に対し、有価証券の取得による支出770億円、定期預金の預入による支出80億円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動に使用した資金は、前年同四半期連結累計期間と比べ、13億71百万円増加し、91億79百万円となりました。これは、配当金の支払額51億39百万円、長期借入金の返済による支出40億円等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年4月5日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正により、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年11月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,211	25,608
売掛金	1,709	4,142
有価証券	54,001	72,008
商品	30,608	43,825
その他	7,837	11,180
流動資産合計	126,368	156,764
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	64,393	66,081
土地	33,987	34,492
その他(純額)	4,001	3,384
有形固定資産合計	102,381	103,958
無形固定資産		
のれん	672	448
その他	1,116	1,121
無形固定資産合計	1,789	1,570
投資その他の資産		
差入保証金	35,650	34,299
その他	11,670	11,889
貸倒引当金	△212	△176
投資その他の資産合計	47,107	46,012
固定資産合計	151,279	151,541
資産合計	277,647	308,306
負債の部		
流動負債		
買掛金	15,263	35,462
1年内返済予定の長期借入金	4,000	2,000
未払法人税等	10,576	6,093
賞与引当金	1,739	28
役員賞与引当金	73	52
その他	8,752	13,377
流動負債合計	40,405	57,014
固定負債		
長期借入金	7,800	5,800
退職給付引当金	1,220	1,254
定時社員退職功労引当金	673	730
役員退職慰労引当金	506	514
資産除去債務	1,313	1,404
その他	116	120
固定負債合計	11,630	9,823
負債合計	52,035	66,837

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年11月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,086	17,086
資本剰余金	18,637	18,637
利益剰余金	190,796	206,769
自己株式	△1,104	△1,144
株主資本合計	225,416	241,349
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	180	119
為替換算調整勘定	14	△0
その他の包括利益累計額合計	195	119
純資産合計	225,611	241,468
負債純資産合計	277,647	308,306

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年2月21日 至平成23年11月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年11月20日)
売上高	341,248	365,670
売上原価	229,406	244,465
売上総利益	111,841	121,204
営業収入	722	765
営業総利益	112,563	121,970
販売費及び一般管理費	80,612	86,697
営業利益	31,951	35,272
営業外収益		
受取利息	440	476
受取配当金	91	113
投資有価証券売却益	18	31
為替差益	—	69
配送センター収入	235	297
雑収入	272	353
営業外収益合計	1,057	1,340
営業外費用		
支払利息	94	49
貸倒引当金繰入額	3	—
為替差損	221	—
雑損失	28	16
営業外費用合計	348	66
経常利益	32,660	36,547
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1	—
退職給付引当金戻入額	583	—
受取補償金	—	35
収用補償金	68	69
特別利益合計	653	104
特別損失		
固定資産除売却損	36	151
減損損失	23	7
災害による損失	1,031	19
災害義援金等	489	—
災害損失引当金繰入額	95	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	320	—
賃貸借契約解約損	—	107
その他	287	4
特別損失合計	2,284	291
税金等調整前四半期純利益	31,030	36,359
法人税等	12,959	15,238
少数株主損益調整前四半期純利益	18,070	21,121
四半期純利益	18,070	21,121

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年2月21日 至 平成23年11月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年2月21日 至 平成24年11月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	18,070	21,121
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15	△61
為替換算調整勘定	51	△14
その他の包括利益合計	35	△76
四半期包括利益	18,105	21,045
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,105	21,045
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年2月21日 至平成23年11月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年11月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	31,030	36,359
減価償却費	3,687	3,720
減損損失	23	7
のれん償却額	224	224
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2	△36
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,664	△1,711
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△14	△21
災害損失引当金の増減額(△は減少)	95	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△569	32
定時社員退職功労引当金の増減額(△は減少)	58	57
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	33	8
受取利息及び受取配当金	△531	△589
支払利息	94	49
為替差損益(△は益)	201	△72
固定資産除売却損益(△は益)	△5	36
災害損失	264	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	320	—
売上債権の増減額(△は増加)	△1,753	△2,432
たな卸資産の増減額(△は増加)	△11,232	△13,208
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△1,799	△2,990
仕入債務の増減額(△は減少)	43,848	20,196
その他の流動負債の増減額(△は減少)	5,060	4,736
その他	677	525
小計	68,052	44,893
利息及び配当金の受取額	165	218
利息の支払額	△128	△72
法人税等の支払額	△17,077	△19,605
営業活動によるキャッシュ・フロー	51,011	25,433
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△5,000	△8,000
定期預金の払戻による収入	—	5,000
有価証券の取得による支出	△52,000	△77,000
有価証券の償還による収入	24	48,001
有形固定資産の取得による支出	△4,790	△5,914
無形固定資産の取得による支出	△33	△44
差入保証金の差入による支出	△1,322	△1,348
差入保証金の回収による収入	2,809	2,948
その他	△380	△506
投資活動によるキャッシュ・フロー	△60,692	△36,864
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	2,000	—
長期借入金の返済による支出	△5,000	△4,000
自己株式の取得による支出	△19	△40
配当金の支払額	△4,788	△5,139
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,808	△9,179
現金及び現金同等物に係る換算差額	△29	8
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△17,518	△20,603
現金及び現金同等物の期首残高	65,080	51,211
現金及び現金同等物の四半期末残高	47,561	30,608

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。